

第1回「南部ルート of 公共交通の再編に向けた検討会」議事録

日時：令和4年5月17日（火）
午後7時30分から
場所：南部コミュニティセンター
出席：36名

○議 事

1. 開会

事務局 (藤井課長)	<ul style="list-style-type: none">・ただいまより、南部ルート of 公共交通の再編に向けた検討会を開催する。・配布資料の確認をする。 <p>・次第</p> <ul style="list-style-type: none">・資料1：南部ルート of 現状について・資料2：南部地域社会実験運行バスについて・資料3：第3期社会実験運行について・南部地域通学通勤バス第2期社会実験運行チラシ <p>以上の5点である。</p> <ul style="list-style-type: none">・栄南学区区長会長 伊藤様からご挨拶をいただく。
---------------	---

2. あいさつ

区長会長	<ul style="list-style-type: none">・栄南学区は高齢者率がどんどん上がっており、高齢者の方の足に困っている。本日は、忌憚のないご意見を出していただき、受実した時間となるようお願い申し上げます。
事務局 (藤井課長)	<ul style="list-style-type: none">・市民生活部長伊藤よりご挨拶申し上げます。
事務局 (伊藤部長)	<ul style="list-style-type: none">・本日は、お忙しいなかご協力いただきありがとうございます。・少子高齢化が進んでおり、高齢者夫婦や高齢者一人で生活している世帯が増加している。そうしたなか、移動に不安を抱える方や、移動が困難になってきている方々が確実に増えており、高齢者に対する対策が喫緊の課題であると認識している。・令和元年度にワークショップを開催し、南部ルート of 通勤通学急行便 of 社会実験や南部コミュニティセンター of 待合などの環境整備を行っている。コロナなどの影響で、情報が正しく届いていないことで、現時点では設定した目標値には届いていない状況である。・地域課題を解決するため、南部ルート of 運行手順を見直すことが必要であると考え、地域の方の意見を聞き、検討を進めていきたいと考えてい

	<p>るので、ご理解いただきご協力をたまわりたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月には第3期社会実験運行を予定しており、これに向けて意見を頂戴したい。
--	---

3. 事務局説明

事務局 (藤井課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・1. 検討会開催の経緯について
事務局 (富居)	<p>資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2. 南部ルート of 現状について ・3. 南部地域社会実験運行バスについて ・4. 第3期社会実験運行について

4. 意見交換

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・弥富市としては、デマンド交通のメリット・デメリットを理解してもらい、きんちゃんバスと比較検討するために社会運行実験を行いたい。 ・まずは週2回の運行から本格導入に向けて、時間帯等みなさまの意見を聞いていきたい。料金や運行頻度、運行コース等、具体的な意見をいただきたい。
区長会長	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所・海南病院まで片道500円（往復1000円）は高い。 ・大藤・栄南を1つのエリアにしてほしい。 ・最大でも往復500円以内にしてほしい。
住民	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通はどのように社会運行実験するのか。予約の仕方やバス停は具体的に決めているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通は半径150～200メートル以内にミーティングポイント（乗降者場）を設ける。（現行のバス路線は半径400メートル以内にバス停） ・細かく停留所を設定する。
住民	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停のような形式なのか。家に迎えに来てもらうことはできるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーとの差別化を図るために、ドア・トゥ・ドアではなく停留所で乗り降りをする。
住民	<ul style="list-style-type: none"> ・三重交通は閑散地域を走行しており、ノウハウがあると思うが、三重交通を話し合いに交えないのか。私たち素人より良いのではないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・三重交通は運行手段については強いが、実際の目的地や実際にどこに乗降者場を配置すれば良いか等については地域住民の方がよく知っている。 ・実際にどこによく行っているのかといった地域の方の声を反映したい。
住民	<ul style="list-style-type: none"> ・これからデマンドを利用していくのは私たちではなく、お年寄りの方であると思うが、お年寄りはどのように予約をするのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットとコールセンターから予約をできるが、豊明市の事例ではほとんどの高齢者がコールセンターを利用している。 ・今後、利用する際に市担当者や業者が各区に出向き、予約の仕方等を実際に操作してもらいながら説明する。 ・区長さんに各区で会を開いてもらい、丁寧に説明していきたい。
住民	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りが予約をしている映像はないのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が予約している映像はないが、視察も可能であるためオペレーターの状況も見に行くこともできる。地域に出向いて、実際に体験していただきながら説明をさせていただく。
住民	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通では、白ナンバーでやるのか、緑ナンバーでやるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・緑ナンバーで、委託して行う。
住民	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方が利用しやすいようにしてほしい。 ・きんちゃんバスを利用している高齢者はほとんどおらず、いたとしても海南病院へ行く人である。 ・南部工業地域のバスは今後も残していくのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎重工まで走行しているバスがあるが、朝晩利用する人がいるため、残す方向で検討している。 ・デマンド交通は、日中の高齢者をメインとした移動困難者をターゲットとして行う。
住民	<ul style="list-style-type: none"> ・飛島村では、毎週金曜日にタクシーのように高齢者の自宅に迎えに来て、農協のスーパーまで送ってくれる。 ・地域に寄り添ったデマンド交通の方式を導入してほしい。 ・地域の特性に沿った運行体制にしてほしい。 ・高校生が雨の日も雨具を着て通学しており、危険である。きんちゃんバスがあるということを家族や高校にPRし、高校生に知ってもらうべき。 ・デマンド交通の案について、2つ目の案が良いと思った。 ・きんちゃんバスも並行して運行していくのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期の社会運行実験の結果をもとに、既存の路線型にするのか、幹線経路型にするのか、朝晩は幹線経路で日中は大藤止まりにするのか等、ルートを検討していきたい。
住民	<ul style="list-style-type: none"> ・弥富駅から名古屋に行く人はあまりおらず、蟹江駅から名古屋に行く人が多い。また、蟹江駅へは飛島のバスを利用することが多い。こういった地域の特性も考慮してほしい。 ・実際にバスに乗り、2・3人しか載っていないと寂しく思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行動特性を考慮して、利便性の高いものにしていきたい。
住民	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通は学割があるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・日中（9時～16時）の高齢者を対象としているため、学割は検討していない。
住民	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生からは「弥富駅に7時13分に着かないと学校に間に合わない」という声がある。高校生が多く利用するために、電車の時刻表との関係性も考慮してほしい。 ・鍋田地域では公共交通が充実していないことから、学生が進学とともに地元から離れてしまう。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通導入における公共交通再編成として、バスの時刻表を再検討していきたい。 ・バス停はいろいろな利用者がいるため、利用者の意見を参考に調整しながら進めていきたい。

住民	・海南病院に行くために往復1000円は高く、私も乗らない。
事務局	・きんちゃんバスの料金は現在200円（75歳以上は無料）であり、きんちゃんバスの料金と比較して、デマンド交通の料金設定を再度検討していきたい。
住民	・デマンド交通の利用者は決まってくると推測できるため、定額制を検討してはどうか。
事務局	・前向きに検討していきたい。
住民	・デマンド交通を利用し、イオンにはいけるのか。
事務局	・地域住民の意見を聞きながら行動を分析し、目的地や停留所を決めていきたい。
住民	・運行実験のうち100円くらいで良いのではないかな。 ・もう少し鍋田地域のほうにお金を使っていたきたい。
事務局	・木曾岬町や飛島村と共同の協議会を立ち上げるのも1つ。 ・飛島や木曾岬については公共交通が充実しているため、デマンド交通の導入ができるかわからないが、フラットに相談していければと思う。
住民	・身体の不自由な方等、高齢者以外でも利用できるのか。
事務局	・運行時間は9時から16時であるのでその時間であれば年齢問わず、誰でも利用できる。
住民	・家に帰って高齢者の意見を聞き、意見交換会で意見共有を行うか、高齢者を交えて意見交換会をするべきではないか。対象である高齢者の方の声を聴くべきである。 ・ささえあいセンターで出している買い物支援の車を低価格で鍋田のほうに拡充してほしい。
事務局	・今後、高齢者の方の意見を聞きながら検討していきたい。
住民	・きんちゃんバスと直行便自体があまり認識されていない。十分に周知しないと良いデータが取れないのではないかな。 ・有用性のあるデータを収集するためには、社会運行実験を1年間は続けないといけないと思う。周知が不十分かつ短期間であると利用者が限定的になってしまう。 ・デマンド交通に関して、通勤・通学用と日中の限定的な利用に分けていかなければならない。 ・デマンド交通について、人の動線に合わせてるといろいろな停留所に寄ることになり料金もかかるため、こちらが動線を設定し、地域住民に合わせてもらうほうが良いのではないかな。 ・小学生には弥富駅、イオンへの年間パス、中高生には弥富中学校や黎明高校への年間パスを配布し、より多く利用していただくことで、提供した動線が地域になじんでいき、地域に残る学生も増えていくのではないかな。
事務局	・子どもころから、きんちゃんバスを知ってもらえると、将来、高校・大学・社会人と使っていただくことができるようになるので、早い段階において、周知を広めていく必要がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験については、コロナウイルスの蔓延もあり、思うように周知ができなかった。2期では早い段階から中学3年生に無料乗車券やチラシを渡すなどの対応をしている。こういった対応を地道に行っていく必要があると思う。
--	--

5. 閉会

<p>事務局 (藤井課長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見は、6月の活性化協議会にてご報告させていただく。 ・次回の開催については、会長と相談しながら、決めさせていただくので、参加をよろしく申し上げます。
-----------------------	---

以上